

令和4年度学校評価自己評価表（評価計画）

A：100%以上 B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満

廿日市市立佐方小学校

評価計画						自己評価					学校関係者	改善方策	
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための 具体的方策	評価項目・指標	目標値	昨年度 達成度	分掌	中間 10月	達成度 (10月)	最終 2月	達成度 (2月)	評価		結果と課題の分析
【確かな学力・学び続ける力】 学ぶ喜びにあふれた分かる授業を創造する。	◎学習意欲の向上を図り、基礎・基本の確実な定着を図る。	「ユニバーサルデザインを生かした授業づくり」の校内研修を実施する。	<全国学力・学習状況調査児童質問紙> 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童の割合【R3市共通項目】	85%以上	87.9%	教務							
			<国語科における思考・判断・表現> ・国語科において、期末テストの「思考、判断、表現」の観点の問題を80%以上正答した児童の割合 ・国語の学力調査（CRT）の「説明文の内容の読み取る」項目において、全国平均を上回る学年の割合 ・児童アンケートで「自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができた」という項目で肯定的評価をした割合【中学校区共通項目】	85%以上 80%以上 85%以上	80.8% - 82.2%								
			<ユニバーサルデザイン> ・ユニバーサルデザインの考えを生かした授業づくりを行っている」と答えた教職員の割合【重点項目】	100%	96%								
【豊かな心】 自分を大切にし他者を大切に、集団の中で力を発揮させる。	◎「出番」「チャレンジ」「承認」する場を児童に与え、児童の自己有用感を高める。	基本的な生活習慣（挨拶）に取り組む。  自ら進んで、本気で頑張り、根気よく清掃活動に取り組む。  行事や日々の生活において互いの良さを見付ける場を設ける。	<あいさつ> ・教職員・保護者アンケートで「児童は進んであいさつをしています」という項目で肯定的評価をした割合	75%以上	T 84% P 66.8%	生徒指導							
			<清掃活動> ・「時間いっぱい丁寧に掃除をしている」と回答した児童の割合【中学校区共通項目】	90%以上	93.7%								
			<自己有用感> ・「友達は、私のことを分かってくれている」と肯定的評価をした第3学年以上の児童の割合（アセス）	90%以上	85.0%								
【保護者・地域との信頼関係の強化】 情報を発信し学校の教育方針を理解してもらい、地域の教育力を学校に生かす。	自ら進んで地域行事等に参加し、地域に親しみを覚える児童を増やす。	地域素材を生かした学習を各学年で実施し、地域に愛着をもつ児童を育成する。	<ふるさと学習> ・各教科・領域等で、地域に愛着がもてるように単元を構成して授業を実践した学年の割合	100%	96.0%	生徒指導							
【体力の向上・健康な体】 すべてのエネルギーの源である健康を保持し体力を向上させる。	日常的に運動を奨励し、基本的な生活習慣の確立を図る。	家庭での規則正しい生活の送り方についての意識の向上に取り組む。  日々の健康管理に取り組み、「新しい生活様式」の徹底を図る。  体力づくりに取り組む。	<就寝時刻> ・学期ごとにアウトメディア、睡眠の調査を行い、生活リズムチェック週間の期間中、4日/5日、目標達成できた児童の割合	85%以上	85.7%	健康教育							
			<朝ごはん> ・毎日、朝食を食べて登校する児童の割合 ・食に関するアンケート結果や生活リズムチェック週間の5日/5日、目標達成できた児童の割合	90%以上	96.2%								
			<コロナウイルス感染症対策> ・毎朝計測した体温と体調についてを健康チェックカードに記入し、登校後担任に提出する児童の割合	100%	98.2%								
			<外遊び> ・1日1回、外遊びができた児童の割合 「昼休憩などにしっかりと外で遊んでいますか」という項目で肯定的評価をした児童の割合	70%以上	66.2%								
【風通しのよい職場づくり】 子どもと向き合う時間を確保し、教育の質の向上を図り、教職員一人一人が健康で、生き生きとやりがいをもって勤務できる環境づくりを推進する。	◎学校における自律的な業務改善・業務削減の推進を図る。	校務分掌の見直しを図る。 定時退校日の設定を行い、教師のワーク・ライフバランスの推進を図る。	<子どもと向き合う時間> ・子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合	90%以上	92.80%	教務 生徒指導 健康教育							
			<効率的な働き方①> ・時間外勤務時間が月平均80時間未満の教職員の割合	100%	100%								
			<効率的な働き方②> ・時間外勤務時間が月平均45時間未満の教職員の割合	100%	66%								